

## 武庫川 住民説明会 アンケート

本日は、武庫川 住民説明会に参加いただき、ありがとうございました。

ご意見がございましたら、下の欄に自由にご記入の上、出入口に設置しています『意見箱』に投函してください。

(後日改めて(1ヵ月程度)、下記宛に FAX や e-mail などでご意見をお寄せいただいても結構です)

兵庫県 県土整備部 土木局 武庫川企画調整課 総合治水係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

FAX : 078-362-3942

e-mail : muko\_chosei@pref.hyogo.jp

### (記入欄)

<項目例>

- ・今後、武庫川でめざすべき河川整備の目標・水準について
- ・流域対策 (学校、公園、ため池、水田における雨水の一時貯留) について
- ・既存ダム (青野ダム、千苅ダム、丸山ダム) の治水活用について など

- ①流域毒の除去に基いて、河川はよ。
- ②新地ダムは絶対必要。流域対策を早急に行うべき。
- ③利根ダムは利用の減少による。治水の面で大いに活用するべき。

お名前、ご連絡先を差し障りのない範囲で記入してください。

お名前

ご連絡先

住所 :

電話 :

Fax :

## 武庫川 住民説明会 アンケート回答

平成 19 年 1 月 20 日

1 月 1 8 日 園田地区会館での説明会に出席させて頂いたときの感想と、私の想いをまとめました。県として出来るだけの広報を行ったにも関わらず出席者が少なかった事に少しガッカリされたこととは思いますが、地域行事の参加者を募るのに四苦八苦している私の経験からすれば、感心を持っていてくれる方がこれほど居たかと言うのが率直な感想です。最近の自治力の低下振りを如実に示す実態をご理解いただけたのではないのでしょうか。

従来行政だけで進められていた河川行政に住民の意見を取り入れようという画期的な取り組みで県の姿勢については高く評価したいと思います。

私は立花地区会館区域に住んでいますが他の会議の都合で出席できず地元の声は承知していませんが、ハザードマップの 2 メートル以上の浸水被害が予想され、1 6 年 1 0 月豪雨で武庫川を間近にして洪水の危機を感じたであろう大庄地区住民の声を聞いてみたいと思っていましたが、都合がつかず止む無く園田地区会館の説明会に出席させて頂きました。

ここは、猪名川に囲まれた輪中のような地域で、武庫川からの影響は少なく、猪名川の洪水や内水浸水被害を中心に話が展開するものと思っていましたが、武庫川を的にした話が展開され武庫川に対する関心の深さに感心させられました。

説明内容は、流域委員会を傍聴し検討経緯や専門的な勉強をさせて頂いた者にとって、「流域委員会の提言」と「県の考え方と進め方」が一括して説明され、本来説明すべき流域委員会の提言内容が非常に分り難く、県の考え方が突出して居たと言うのが率直な感想です。まして初めて聞かれる一般の方には、専門用語の分りにくさに加え、何が委員会の提言か理解できない説明であった。

我われ地域住民は日々の生活実感から物事を考えるが、河川行政を担う行政は川から見ているようで、市民との視点の違いが大きく市民挙げての合意形成には相当の困難が伴うだろうと感じました。尼崎市は室戸台風やジェーン台風の高波被害に遭い防潮堤が出来るまでは度々浸水被害を経験してきました。防潮堤が出来る以前から尼崎に暮らす者にとっては、浸水被害と言えば「武庫川からではなく、市内に降る豪雨や台風に伴う高潮」によるものと言うのが生活実感で、今も市内の各所に残るジェーン台風の浸水高さを示す標識から被害を実感できます。尼崎市史を見ても防潮堤が市の守りとして最も大切なものとなっています。武庫川河口部や阪神淡路大地震で破損した神崎川河口部の堤防は洪水への備えではなく高潮への備えとして機能しています。

県は基本高水の妥当性を市民に求めようとしていたが、一般市民は生活実感からしか判断できない。生活実感から理解できるような説明方法を工夫して頂ければと思います。

例えば田能には水難記念碑が建っており、正確な数値は示せなくても当時の河道施設や貯留施設、その他流域の状況や被害状況と降雨状況などを踏まえて、基本高水流量も降雨強度と継続時間が変われば影響も変わってくるなど地域に即した事例を利用するなど体感的に基本高水が理解できる説明を加え素人が妥当性を判断出来るような工夫が有ればと思いました。

安全度は高ければ高いほど安全かもしれませんが、尼崎に 60 年以上住み続けた私の生活実感からすれば、台風による浸水被害の経験はありますが、武庫川からの被害の経験は無く、「基本高水流量 4 6 5 1 m<sup>3</sup>/s 」、「整備計画目標流量 3 4 4 9 m<sup>3</sup>/s」の何れも生活実感から大きすぎると言うの

が素直な感覚です。

流域委員会の提言を受け、提言の精神に沿って「技術的」「経済的」検証を加え実現可能な整備計画を立案していくとの事ですが、「具体的な項目と問題点」についてプロジェクターで説明して頂いた内容から流域委員会の精神が活かされることなく葬り去られるような危惧を覚えました。

最大の危惧は「整備計画目標流量 $3449\text{ m}^3/\text{s}$ 」が既に一人歩きし始めているように感じました。

「具体的な項目と問題点」の中でもこの数値を見直すことは触れられていなかったように思います。

流域対策は費用対洪水抑止効果や維持管理、想定被害金額など、数値化し易い経済的な評価基準を適用すると流域対策は費用と管理の煩雑さと洪水抑止効果は経済的には低い評価になるだろうし、

既存貯留施設の活用についても同じことが言える。引き提も効果が期待できる所は境資本と生命が集中する地域と重なり膨大な費用と複雑な利害関係が交錯する所で実現には非常な困難を要する

と思われ。結局現河道内で出来ることに限られてくる事は明らかで、「整備計画目標流量 $3449\text{ m}^3/\text{s}$ 」を実現するとしたら「新規ダム」と「河道」対策で押し切られるような危惧を覚えます。

対比用効果、実現性を検討して「整備計画目標流量 $3449\text{ m}^3/\text{s}$ 」の実現が難しくなれば「**目標流量を切り下げる**」選択があっても良いと思う。過去の災害事例を見ても「超過洪水」に比べ「破堤洪水」の方が、格段に被害が大きいくことから分るように、切り下げた分は「減災」対策で対応するのが現実的な対応だと思います。流域住民に河川施設の限界を明らかにし自助を促す取り組みがあっても良いのではないかと思います。

財産と生命を守る事とに使命感を持って頂いているのは大変結構な事とは思いますが、危険な地域に生命財産を集中させない、安全度に見合った土地利用を進めるなど「都市計画」が中心になって川づくりを考えるべきだと思います。まち作りは河川行政の範囲を超えており市町村、自治会など流域住民の理解と協力なくして出来ないことは自明の事とではないでしょうか。県から示された今後の推進体制に都市計画部門が無い事、と、流域市町村や住民の想いを取り入れる窓口が無いことが決定的な問題点だと思います。検討会の答申は「計画は河川管理者満足ではなく、流域住民満足」であって欲しいと願っています。

長い時間をかけて検討されてきた基本高水についても、多くの前提条件の基に出された推定値であり、学会でも多々異論があり、「基本高水流量 $4651\text{ m}^3/\text{s}$ 」・「整備計画目標流量 $3449\text{ m}^3/\text{s}$ 」も多くの問題点を残しながら苦渋の選択で出されたもので、前提条件が変わればたちまち危うくなるものだと思います。しかし計画立案に際し何らかの数値を決めなければならない事を考えれば現時点では止む得ない数値だと思います。「整備計画目標流量 $3449\text{ m}^3/\text{s}$ 」が絶対でなく、柔軟に変わるものであってほしいと願っています。今後の科学技術の発展や社会情勢の変化に即して定期的な見直しを加えてほしい。

従来は経済優先で、環境アセスメントでは「環境には影響を及ぼさない」と言う消極的な評価を行い事が進められてきたが、残り少ない自然や流域で育て上げた文化や伝統の重視した積極的な環境アセスメントを進めて頂ければと願っています。

以上

# 武庫川 住民説明会 アンケート

御係様

去る平成19年1月15日 武庫地区会館での説明会に出席させていただきました。

本日は、武庫川 住民説明会に参加いただき、ありがとうございました。貴重な機会を与えていただき  
感謝します。以下に 意見を簡単に申し上げます。お御質問が ありませんら  
ご意見がございましたら、下の欄に自由にご記入の上、出入口に設置してあります『意見箱』に投函  
してください。御連絡下さい。 事務局の皆様の一層の御活躍をお祈り申し上げます。

(後日改めて(1 ヶ月程度)、下記宛に FAX や e-mail などでご意見をお寄せいただいても結構です)

兵庫県 県土整備部 土木局 武庫川企画調整課 総合治水係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

FAX : 078-362-3942

e-mail : muko\_chosei@pref.hyogo.jp

## (記入欄)

### <項目例>

- ・今後、武庫川でめざすべき河川整備の目標・水準について
- ・流域対策 (学校、公園、ため池、水田における雨水の一時貯留) について
- ・既存ダム (青野ダム、千苅ダム、丸山ダム) の治水活用について。

私見

1. 今後は、今までにない異常気象(前期の渇水、増水)があると覚悟しなければならぬ。

2. 武庫川のように沢山の支流(流入源)を持つ川の場合、どこかあるところにダムを造ることも  
根本的は目的を達成できません。問題の解決にはなりません。

3. 最大の問題は、川を越えて人間が川に近付きすぎている、ことである。川の責任が  
あるのではなく、川に近付きすぎた人間、そしてそれを許可した行政。許可せざるに  
得た事情の問題があること。あるためにも住民も行政当局も明確に  
認識しなければならぬ。(特に宝塚初生瀬橋の宝塚大橋の南周辺は)

4. 時間がかかっても、しかし出陣を早急に。水辺から標高(OP)を20m以上  
高所に移動する必要がある。行政も積極的に指導  
奨励しなければならぬ。

5. 武庫川の宝塚以南は両岸とも高。立派な掘削の字が打たれており、土を  
積んたところがある。早急に掘削の字を打ち込んでいく必要がある。

6. 内水のおそれ。10数年前、近くの大庄 武庫線という南北の幹線道路が、一時の集中豪雨  
で下 20cm 程の川に陥っており、日頃は 10cm 位の用水路が道路として  
高さを保ててきた。以来、秋の大雨の時に自宅周辺の水路を見ても下り方になり、  
水路の管理も県と市が分担するところから、大抵市が負担と神奈川運送用の電話  
番号を教えたところから、水路の管理を市が担うべきである。

お名前、ご連絡先を差し障りのない範囲で記入してください。お名前も大切に扱います。お返しの

お名前

無礼 不意 (下)

ご連絡先

住所 :

電話 :

Fax :

# 武庫川 住民説明会 アンケート

本日は、武庫川 住民説明会に参加いただき、ありがとうございました。

ご意見がございましたら、下の欄に自由にご記入の上、出入口に設置しています『意見箱』に投函してください。

(後日改めて(1ヵ月程度)、下記宛に FAX や e-mail などでご意見をお寄せいただいても結構です)

兵庫県 県土整備部 土木局 武庫川企画調整課 総合治水係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

FAX : 078-362-3942

e-mail : muko\_chosei@pref.hyogo.jp

## (記入欄)

<項目例>

- ・今後、武庫川でめざすべき河川整備の目標・水準について
- ・流域対策 (学校、公園、ため池、水田における雨水の一時貯留) について
- ・既存ダム (青野ダム、千苅ダム、丸山ダム) の治水活用について など

1. 100年1度の大雨は 定数には防げない
2. 人間の出来ることは 堤防の決壊を防止すること及び

強化しなす

① 地下水を工事用水として貯め 地盤低下している部分を  
かき上げ

② 決壊を防止するため オートロック分の浸水に  
影響を少し

③ 河川の治水対策 降水量の除去と 力学的形骸の  
かき

3. 既存ダム、丸山ダム、千苅ダムは大雨時の想定に基づいて  
治水の対応策の検討と 治水時の水害を軽減する

大雨の時の  
治水の対応策の検討と 治水時の水害を軽減する

お2 人間の調整は子子 治水対策の避ける  
速く下流へ 決壊を防止し 流す方法の改善

お名前、ご連絡先を差し障りのない範囲で記入してください。

お名前

ご連絡先

住所:

電話:

Fax :

武庫川 住民説明会 アンケート

本葉は 272

本日は、武庫川 住民説明会に参加いただき、ありがとうございました。

ご意見がございましたら、下の欄に自由にご記入の上、出入口に設置しています『意見箱』に投函してください。

(後日改めて(1ヵ月程度)、下記宛に FAX や e-mail などでご意見をお寄せいただいても結構です)

兵庫県 県土整備部 土木局 武庫川企画調整課 総合治水係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

FAX: 078-362-3942

e-mail: muko\_chosei@pref.hyogo.jp

(記入欄)

<項目例>

- ・今後、武庫川でめざすべき河川整備の目標・水準について
- ・流域対策 (学校、公園、ため池、水田における雨水の一時貯留) について
- ・既存ダム (青野ダム、千苅ダム、丸山ダム) の治水活用について など

1月19日の説明会で賛同できなかった  
ことも別紙でお送りします。  
よろしくおねがいします。

お名前、ご連絡先を差し障りのない範囲で記入してください。

お名前

ご連絡先

住所:

電話:

Fax :

平成19年1月19日 大庄地区会館の説明会に参加

1. 河床掘削について

説明会では河川掘削の効果があったとのことですが、疑問があるので教えてください。私の住む大庄西町1丁目の武庫川の日常的な水位は大阪湾のOPに左右されます。仮に河床を2m掘り下げても、海面(OP)より2m下を川の水は流れない。これが宝塚では2m掘り下げれば以前の水位より2m低いところを流れるでしょう。かといって河川敷まで砂利が溜まるのも良くないでしょう。掘り下げすぎて堤防の砂利が削り取られ堤防に空洞ができるのが心配です。

2. 海拔0mについて

尼崎市の約1/3のJR以南は海拔0mと聞いております。これは地下水の汲み上げによる地盤沈下だとか。堤防は沈下してないんですか、それとも我々の住む地面と同じように沈下してるのでしょうか。もしも堤防が沈下しているのであればその危険性と対策について教えてください。

3. 堤防の現状について

説明会でも質問があった大庄西町の円徳寺付近の堤防(阪神電車～旧国道)は子供のころから危険な箇所だと聞かされてました。最近では地震の時に陥没しました、この場所は以前に工場の地下水汲み上げ規制に伴い、工業用水確保のために取水口を設けポンプ室まで堤防の下にパイプを通してた場所でもあります。取水廃止により撤去した時の「しまい」が不十分だったのではと地震時の陥没で感じました。地震時の堤防復旧は治水に対し本式なのか仮なのか、原因はなんだったのか不安なので教えてください。コンクリートの亀裂を見る限り心配です。

4. 今後について

説明会で危険度が高いことを知りました。地域の説明会なので大庄地区では堤防を高くすると具体的なことを聞いたかった。説明ではいろんな対策案があったが

(1) 新規ダムの建設

脱ダムといえば聞こえがいいが、過去においても治水でダムがあったために人命と財産が守られたことは多いはず。ダムは環境破壊につながるといわれますがトンボや蝶等が乱舞していても人命や財産を守ってくれません。人間は人命や財産を守りトンボや蝶といった生物や植物と共存のできる知恵を持っています、知恵生かし新しい技術で新規ダムの完成を望みます。

(2) その他

ダムがすべてではないことも承知しています、もっとも効果のあるダムを設置し、順次堤防の拡張、場所によっては河床の掘削、最終にはスーパー堤防も考慮して対策してほしい。水田や畑そして学校の校庭を利用して雨水をためる方法は問題が多く困難な割りに効果が少ないと思います。

以上